

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

議案等の件名・主な内容 及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度		会派名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会										
種類番号	件名	議案等の主な内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載。 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論。							議員氏名									
12月定例会(会期：11月28日～12月18日・21日間) 議案等			結果							○=承認、賛成、採択 ●=不承認、反対、不採択 △=趣旨採択 退=退席									
決議案第2号	議案第89号「高浜市大山会館の設置及び管理に関する条例の廃止について」に対する附帯決議	公共施設総合管理計画の着実な推進による財政負担の軽減と、春日町町内会との長年にわたる検討を無に帰さないため、①春日町町内会の意向を尊重し、町内会の意向に沿った活用の配慮に努めること。②大山会館の主な利用者に丁寧な対応を行い、一般市民には広報やホームページで閉館周知を行うこと。③春日町町内会が活用する場合、市の指定避難所機能を確認すること。以上3点が着実に遂行されることを求める。	【議案第89号に係る決議案を議員提案により提出されたもの】 議案第89号の質疑を踏まえて議員提案され、採決した。【反対】 ①住民合意を得てなく、春日町町内会が運営の前提ありき。②附帯決議には法的拘束力がなく、単なる議会の希望。 賛成 ①全ての公共施設を維持し続けるのは困難。様々なサービス維持のため、機能の複合化・集約化の推進は不可欠。②町内会で長期間検討。会館廃止の議会議決なしでは、町内会で活用できないとの声。③町内会の意向を尊重。計画に廃止施設だが、避難指定広場の市内で最も高台にあり、地域住民避難所機能等も市として確保される。	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 勝彦	小嶋 克文	長谷川 美克	黒川 美克	内藤 耕一	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈
議第90号	令和元年度高浜市一般会計補正予算(第5回)	●歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億7,283万6,000円を追加し、158億9,070万2,000円とする。●債務負担行為 図書館機能移転支援業務委託を令和元年度～2年度で365万6,000円(新)。介護認定支援に係る電子計算機借上料758万5,000円を849万円とする等。	【問】 障害者自立支援給付事業の扶助費の増は。 【答】 障がい者数の増のほか、自立に向けた利用者や放課後等デイサービス利用者の増加などによるもの。 【問】 保育園管理運営事業の費用面での影響は。 【答】 高浜幼稚園の民営化や待機児童対策に寄与する運営費の一部を、国や県が負担するため、メリットがある等。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第91号	令和元年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,758万円を追加し、33億6,180万6,000円とする。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第92号	令和元年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第3回)	●保険事業勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億919万3,000円を追加し、27億9,111万円とする。●介護サービス事業勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ304万円を追加し、4,943万7,000円とする。他、債務負担行為。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第93号	令和元年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	歳入歳出予算の総額にそれぞれ29万2,000円を追加し、5億533万円とする。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第94号	令和元年度高浜市水道事業会計補正予算(第1回)	●収益的収入及び支出 ○収入から2万円を減額し、総額を8億9,294万3,000円とする。○支出から985万9,000円を減額し、総額を8億3,385万6,000円とする。●資本的収入及び支出 ○収入から1,895万6,000円を減額し、総額を1億781万7,000円とする。○支出に38万1,000円を追加し、総額を4億4,509万3,000円とする。●議会の議決を要する経費の職員給与費から976万8,000円を減額し、5,152万6,000円とする。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第95号	令和元年度高浜市下水道事業会計補正予算(第2回)	●収益的収入及び支出 ○収入に127万1,000円を追加し、総額を9億3,332万8,000円とする。○支出に130万1,000円を追加し、総額を8億7,873万3,000円とする。●資本的収入及び支出 ○収入に517万4,000円を増額し、総額を11億1,671万4,000円とする。○支出に690万9,000円を追加し、総額を13億7,587万6,000円とする。●企業債の限度額を5億5,510万円から5億6,590万円に改める。●他、議会の議決を要する経費、他会計からの補助金の変更有。	質疑なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第14号	国に対して「すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書」の提出を求める陳情	国に対し、幼児教育・保育の無償化にあたり、保育の質の確保、地方自治体や施設に新たな負担を課さない、待機児童解消や保育士増員と処遇改善を後進させない意見書の提出を求める。	【反対】 低所得者に対して、十分な配慮をしていると考える。他、 賛成 給食は身体と心の発達に必要で、実費徴収でなく無償化の対象にすべきで、施設任せになることは問題。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
陳第15号	福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情	市に、国民健康保険改善と税の徴収・滞納問題への対応、福祉医療制度の存続・拡充を求める。また、国には高齢者医療の窓口負担増の計画中止等、県には福祉医療制度の存続・拡充を求める等の意見書、要望書の提出を求める。	【反対】 国保引下げのための一般会計からの繰入れは、市財政を圧迫し、皆保険制度に影響を生じかねず、税の公平からも問題。 賛成 国保改善に法定外繰入をしている自治体もある。大企業は440兆円も内部留保があり、法人税を是正すれば財源はある。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
陳第16号	介護・福祉など社会保障の施策拡充についての陳情	市に、介護保険料の減免の実施・拡充を求める等。また、国には介護保険の国庫負担増と、軽度者外しをやめる等の意見書、要望書の提出を求める。	【反対】 低所得者への対応も、しっかりしていると考えている。 賛成 介護保険料や利用料の減免実施及び介護職員の処遇改善、また、任意予防接種の助成制度等々、必要な要望である。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
陳第17号	安全・安心の医療・介護の実現のため夜勤改善と大幅増員を求める陳情	国に、医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制労働における労働環境を改善することや、上記医療職の増員、患者・利用者の負担軽減を図る意見書の提出を求める。	【反対】 厚生労働省で令和2年度、約76億円の概算要求をして、医師・医療従事者の労働環境等の改善を目指している。 賛成 安全・安心の医療・介護の実現のためには必要な要望である。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
陳第18号	介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	市に、特別養護老人ホーム等の人員配置基準を条例改正し、職員の配置水準の引き上げを求める等。また、国には介護施設の人員配置基準の引き上げ等を求める意見書の提出を求める。	【反対】 利用者1人当たりの人員配置の変更は、介護施設等の維持が非常に困難になる。国で人員配置基準の緩和等、様々な議論や検討などが行われている。 賛成 介護施設の人員配置は大変厳しく、基準を国として変えてほしい。軍事費等を回せば可能である。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○
陳第19号	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情	国に、看護師の賃金の底上げを図り、安全・安心の医療・看護体制を確保するための全国を適用対象とした看護師の最低賃金を新設することを求める意見書の提出を求める。	【反対】 賃上げだけでは将来の人材確保等が考えにくい。再雇用の仕組みをつくるべき。 賛成 安全・安心な職員体制や医療・介護現場で働く労働者の処遇確保は、国の責任で行われるべき。	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第20号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情	国に、介護従事者の賃金の底上げを図り、安全・安心の介護体制を確保するための全国を適用対象とした介護従事者の最低賃金を新設することを求める意見書の提出を求める。	【反対】 仕事に対する考え方や生活環境などは人それぞれで、労働改善のための賃上げは一過性のものに過ぎない。 賛成 介護職を辞めたいと思つた人は5割もいる。処遇改善や人材確保を要望する。	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○

※北川広人議員は議長職のため、表決権はありません。